
雲の上の君へ (200文字)

うわの空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雲の上の君へ（200文字）

【Nコード】

N4727V

【作者名】

つわの空

【あらすじ】

僕は今日も空を仰ぐ。

僕は今日も空を仰ぐ。

「……死んだらさ、雲の上に乗れるのかな」

病室の窓から見える入道雲を見ながら、君はそう言った。

「乗れる気がするんだ、私。ふわふわーって」

「どうかな」

僕が苦笑すると、君は微笑んだ。そして言った。

「もしも乗れたらさ、その時は」

僕は今日も空を仰ぐ。

綿菓子のような入道雲が、遠くの方に見える。

僕は今日も空を仰ぎ、そして尋ねる。

「君は今、そこにいる？」

雲の上の君が、笑ったような気がした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4727v/>

雲の上の君へ（200文字）

2011年10月9日01時52分発行